論文投稿規定

1. **投稿者の資格**：著者及び共著者は原則として本学会員に限る。
2. **論文の種類・内容**：論文の種別は、原著論文、症例報告、総説等とし、母性衛生の向上に寄与しうるもので、他誌に発表していないものに限る。ただし本学会学術集会で発表したもので、投稿規定に従い、査読意見を参考に修正が行われた論文は、原則として採択する。この場合、本文の終わりに「本稿の要旨は第○回東京母性衛生学会学術集会で発表した」のように記述する。
3. **研究倫理**：ヒトを対象にした研究論文は、世界医師総会（World Medical Assembly）において承認された最新のヘルシンキ宣言に準拠し、文部科学省および厚生労働省から告示されている「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等の最新の倫理指針を遵守して行なわれたものでなければならない。
4. **論文の長さ**：書式はA4版横書き、原稿1枚は40字×20行（800字）で作成し、8,000字以内とする。なお、図・表は400字分（掲載時、1頁の1/4以下のもの）に換算する。ただし、それ以上のサイズの図・表は800字分以上に換算する。
5. **原著論文の記述の順序**：原則として次のようにする。表題、所属、著者名、概要、緒言、研究（実験）方法、成績、考案、文献、図、表、なお図、表にはそれぞれ番号を付け、原稿の欄外にその挿入箇所を明記する。著者名はローマ字を併記する。
6. **責任著者**：著者の中から責任著者を定め、原稿にその連絡先（E-mailを含む）を明記する。
7. **用字、用語、文体**：原則として常用漢字と平仮名を使用する。学術用語は日本産科婦人学会編「産科婦人科用語集・用語解説集」および日本医学会編「医学用語辞典」最新版に従うことを原則とする。
8. **単位、記号**：単位は国際単位系を使用し、m, mm, L, mL, kg, g, mg, μg, ℃, mEq/L、mg/dLなどとする。数字は算用数字（1, 2, 3）を用いる。
9. **文献の記載法**：文献の引用は論文に直接関係のあるものにとどめ、本文中では引用文献の右肩に文献番号 1)、2) ‥‥を付け、その順序に文献を並べる。文献は次のよう記述する。3名まで記載し、以下は、他、あるいはet al.と記載する。

書籍例

1) 麻生武志：更年期外来のあり方．産婦人科外来シリーズ3－更年期外来－．矢内原巧、麻生武志編集．メジカルビュー社．東京、1998；10-15
2) Norton ME: Genetics and prenatal diagnosis. Ultrasonography in Obstetrics and Gynecology. Callen PW. ed. Philadelphia, Saunders, 2008; 26-59.

論文例

1) 齋藤 益子，石川 紀子，松永 佳子，他．：東京都における周産期医療の実態とそこに携わる医師・助産師の満足度．東京母性衛生学会誌 2011; 27: 15-25.
2) Aso T, Uchiyama S, Matsumura Y, et al.: A natural S-equol supplement alleviates hot flushes and other menopausal symptoms in equol nonproducing postmenopausal Japanese women. J Womens Health (Larchmt). 2012; 21: 92-100.

ウェブページ例

1) 産科DICスコア．日本産婦人科新生児血液学会サイト：<http://www.jsognh.jp/dic/>（資料にアクセスした年月日）

10. **原稿の作成**：原稿はMicrosoft Word、図はPowerPointを用いて作成すること。写真の保存形式はTIFFまたはJPEG（低圧縮）を用いること。オリジナルプリント2部とともにCD等の電子媒体をあわせて送付する。
11. **論文の掲載料**：編集部指定枚数5頁（12,000字）以内は無料とする。編集会議において、字数超過がやむを得ないと判断された場合に限り、超過料

Presented by Medical*Online

を負担した上で可とする。カラーによる印刷は有料とする。

12. **論文の採否**：投稿論文の採否は編集会議で決定する。 原著論文、症例報告等については，編集担当が依頼した査読者による査読に基づき，編集担当から変更を要請する場合もある。採用した原稿は原則として返却しない。
13. **校正**：初校は著者校正とし，再校以後は編集委員会において行う。
14. **別刷**：別刷の費用は著者負担（前納）とする。別刷の希望部数はあらかじめ原稿に朱書きする。
15. **著作権**：本誌に掲載した論文の著作権はすべて東京母性衛生学会に帰属する。著作権譲渡同意書は筆頭著者及び全ての共著者が署名し論文に添付すること。
16. 論文について開示すべき利益相反状態があるときは，投稿時にその内容を明記する。
17. **投稿禁止**：捏造、改ざん、盗用、二重投稿などの不正行為が明らかになった場合には、編集会議が定める期間の投稿は受け付けない。
18. **投稿の宛先**：原稿の送付先は下記編集責任者宛とする。

〒 181-8611　東京都三鷹市新川 6-20-2
杏林大学医学部産婦人科
谷垣　伸治
電 話 0422（47）5511
E-mail：tanigaki@ks.kyorin-u.ac.jp
（2025 年 5 月 18 日　改訂）

（注）日本産科婦人学会編「産婦人科用語集（第 3 版）金原出版、2004。
日本医学会医学用語委員会編「医学用語辞典」南山堂 2001。

Presented by Medical*Online